

Windowsパソコンを接続する

WindowsのOS(Windows10)に搭載されている1スイッチで操作する機能は限定的です。そのため支援ソフトとして「オペレートナビ(テクノツール社)」や「ハーティラダー(フリーソフト)」をインストールしてそれらを使ってWindowsパソコンの操作を行うこととなります。

■接続に際し、ご利用者様の側で準備するもの

マイクロUSB-B・USB-A ケーブル:1本 (パソコンのキーボードを接続する端子に接続します)

■接続方法

- ①接続したい機器のUSB端子(キーボードを接続するところ、機器によって端子は異なります)を確認します。
- ②利用者が操作する入力スイッチをファイン・チャットの入力スイッチ1または2に差し込みます。
- ③用意したケーブルで①で確認したパソコンのUSB端子と本機の外部出力1を接続します。



■ファイン・チャット側の設定

- 55ページ:設定22 外部出力1信号の種類を接続先の機器で受け取れる種類に変更します。
 - ・オペナビの場合:「オペナビ」
 - ・ハーティラダーの場合:「ゲームパッドA(デフォルト)」、「マウス左クリック」など(ハーティラダー側と設定を合わせてください)
 - ・その他の機器では、本機からの信号を受けるパソコンのソフト側が認識できる信号に合わせてください(動作保証外)
- 53ページ:設定2「長押し時間」、55ページ:設定23「外部出力自動復帰時間」は利用者の使用状況に合わせてください。
(6ページの「接続した機器から本機へ戻るとき」を参照しながら設定してください)

■パソコン側の設定

オペレートナビやハーティラダーなどのソフトに合わせた設定が必要な場合があります。

それぞれのマニュアルに従った設定を行って下さい。

※パソコン側の操作する際の細かい設定は弊社や販売ではサポートしておりません。

それぞれのパソコンソフトの販売店、メーカー、(フリーソフトの場合は配布元)にお問い合わせください。

■本機と接続した機器の切替について

6ページの手順に従い、「外部出力1」を選択すると、入力スイッチを押した際の信号が設定22で設定した信号に変換されてパソコンに入力されます。

※接続と入力信号の確認は「コントロールパネル」の「デバイスとプリンタ」で確認できます。

動作が確認できない場合は、まず最初にファイン・チャットからの信号がWindowsで認識されているかを確認します。

信号の確認は「ゲームパッドA」では〇〇で、それ以外の場合はメモ帳のアプリケーション上で入力することでも確認できます。

オペレートナビ (お試しがダウンロード、 90日間無料)	ハーティラダー (無料)

Mac(マッキントッシュ)パソコンを接続する

MacOS(以下余白)には標準でスイッチコントロールのための機能が備わっています。
特別なソフトウェアを追加で購入する必要はありません。(動作は「macOS 10.14 Mojave以降」で確認済み)

■準備するもの

マイクロUSB-B・USB-A ケーブル:1本 (パソコン側にUSB-Cの端子しかない場合はマイクロUSB-B・USB-Cケーブル)

■接続方法

- ①接続したい機器のUSB端子(キーボードを接続するところ、機器によって端子は異なります)を確認します。
- ②利用者が操作する入力スイッチをファイン・チャットの入力スイッチ1または2に差し込みます。
- ③用意したケーブルで①で確認したパソコンのUSB端子と本機の外部出力1を接続します。



■ファイン・チャット側の設定

- 55ページ:設定22 外部出力1信号の種類を「スペース」にします。
- 53ページ:設定2「長押し時間」、55ページ:設定23「外部出力自動復帰時間」は利用者の使用状況に合わせて。
(6ページの「接続した機器から本機へ戻るとき」を参照しながら設定してください)

■パソコン側の設定(先にファイン・チャットで外部出力1を選択し、「スペース」の信号がMacに入力される状態としておきます)

コントロールパネル>アクセシビリティ>スイッチの登録

※パソコン側の操作する際の細かい設定は弊社や販売ではサポートしておりません。
それぞれのパソコンソフトの販売店、メーカー、(フリーソフトの場合は配布元)にお問い合わせください。

■本機と接続した機器の切替について

6ページの手順に従い、「外部出力1」を選択すると、入力スイッチを押した際の信号が設定22で設定した信号に変換されてパソコンに入力されます

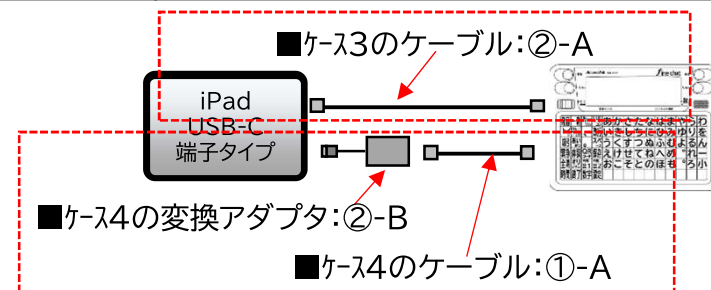
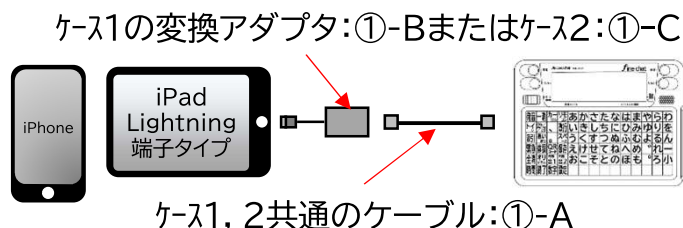
iPhone、iPadを接続する

ご利用者様がお持ちのiPhone/iPadを接続する場合、充電・通信の端子の形状や画面をテレビに映すご要望の有無で接続方法や準備するものが異なります。接続する機材を確認の上、対応する方法を進めてください。

■接続に際し、ご利用者様の側で準備するもの

ケース	iPad側の端子	iPadの画面をテレビに	ケーブル(いずれもデータ転送対応のもの)	変換アダプタ
1	Lightning 端子	映さない	①-A: マイクロUSB-B・USB-Aケーブル	①-B: Lightning to USB 3 Camera Adapter (Apple社純正品) ※①-Cでも対応可能
2		映す		①-C: 3in1 usb カメラアダプタ (amazonで販売、QRコード参照)
3	USB-C 端子	映さない	②-A: マイクロUSB-B・USB-Cケーブル	不要
4		映す	①-A: マイクロUSB-B・USB-Aケーブル	②-B: USB-C Digital AV Multiportアダプタ (Apple社純正品)

■接続方法



■ファイン・チャット側の設定

- 55ページ: 設定22「外部出力1信号」で「スペースキー」を選択します。
- 53ページ: 設定2「長押し時間」、55ページ: 設定23「外部出力自動復帰時間」は利用者の使用状況に合わせます。
(6ページの「接続した機器から本機へ戻るとき」を参照しながら設定してください)

■iPhone/iPad側の設定(iOS14の例です。OSが異なる場合、表現や設定の場所が異なる場合があります)

- (1) 「設定」→「アクセシビリティ」→「ショートカット」→「ボタンのトリプルクリック」の項目で「スイッチコントロール」にチェックします。
- (2) 「設定」→「アクセシビリティ」→「スイッチコントロール」→「スイッチ」→「新しいスイッチを追加」→「外部」で「外部スイッチをアクティベートしてください」の表示が出たら、ファイン・チャットで「外部出力1」を選択、入力スイッチを押してiPhone/iPadに登録します。
「スイッチの名前」は好きな名前を登録して構いません。(例: ファイン・チャット)
- (3) 「設定」→「アクセシビリティ」→「スイッチコントロール」で「スイッチコントロール」をONにすればファイン・チャット側の入力スイッチでiPhone/iPadのスイッチコントロール機能が利用可能となります。
- (4) スwitchコントロールのON/OFFはiPhone/iPadのホームボタン(サイドボタンまたはトップボタンの表示の時もあり)をトリプルクリック(3回連打)します。

※iPhone/iPadをスイッチコントロールで操作する際の細かい設定は弊社や販売ではサポートしておりません。
インターネットで情報を集めるか、障害者支援のボランティア団体などにご相談ください。

■本機と接続した機器の切替について

6ページの手順に従い、「外部出力1」を選択すると、入力スイッチを押した際の信号が設定22で設定した信号に変換されてiPhone/iPadに入力されます

ファイン・チャットと各機器との切替方法

■ファイン・チャットから接続した機器へ切り替えるとき

ファイン・チャットで文字板の  (外部出力1)を選択します。

■接続した機器から本機へ戻るとき

以下のいずれかの方法で操作対象を接続した機器から本機へ戻すことができます。

(方法1) 設定した時間の入力スイッチの長押し

長押し時間は0.5～15秒まで53ページ:設定2「長押し時間」で調整可能

(方法2) 設定時間内に設定回数、入力スイッチの連打(操作方法はブザーを鳴らす場合と同様)

時間と回数の組み合わせは以下のいずれかから選択する

53ページ:設定8「連打ブザー」で選択

①なし(方法2は使わない場合)、②1.0秒以内に3回、③1.0秒以内に4回、④2.0秒以内に4回、⑤2.0秒以内に5回

(方法3) 一定時間で自動復帰(外部出力復帰時間)

外部出力へ切替後、一定時間スイッチ操作が無いと、自動的に本機へ操作対象を戻す

55ページ:設定23「外部出力自動復帰時間」で選択

①なし(方法3は使わない場合)、②30秒、③1分④2分、⑤3分、⑥4分、⑦5分

※自動復帰の10秒前から警告音が鳴るが、この間に入力スイッチを押すと、自動復帰は中断、外部出力での操作が継続する

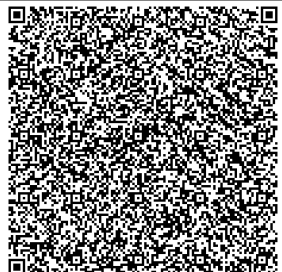


【ご注意】

モノラルジャックで接続する機器を操作する場合は外部出力2と機器をモノラルケーブルで直接つなぎ、ファイン・チャットからの接点出力を外部出力2に接続した機器に発信します。

また、2台目の機器を接続する際は外部出力2の接点出力をパソコン等の信号に変換する機器が別途必要となります。

(参考)接続のためのケーブル、変換アダプタの例

(2021年6月現在、弊社で動作確認済み。ただし、弊社で販売するものではないため動作の保証や責任は取れません。)

接続側の端子 (①-A等は前ページの表に対応)	①-A:マイクロUSB-B・USB-Aケーブル (Win、一部のMac)	②-A:マイクロUSB-B・USB-Cケーブル (Mac、iPadの一部)	①-C:ライトニング端子／HDMI付* (iPhone)
購入先 (いずれもamazon)			

※Apple社のMFI認定を受けていないため今後iOSのアップデート等で使えなくなる可能性もあります。(その分安いですが)ご理解の上、ご購入下さい

ケーブルを強く引っ張ると機器が破損する可能性がありますので、左記のマグネットで脱着できるタイプがおすすめです

意思伝達装置ファイン・チャット

(購入時は他社製品のためお客様の方で 別途手配願います)

デモ機にあわせた外部出力機器接続キットのお預け品について(希望者のみお預け)

ファイン・チャットを外部出力1経由でパソコン(Win、Mac)、iPhone、iPadとの接続を体験する際に必要なケーブル、アダプタをお預けします。(購入は各自でamazonなどでご注文ください)

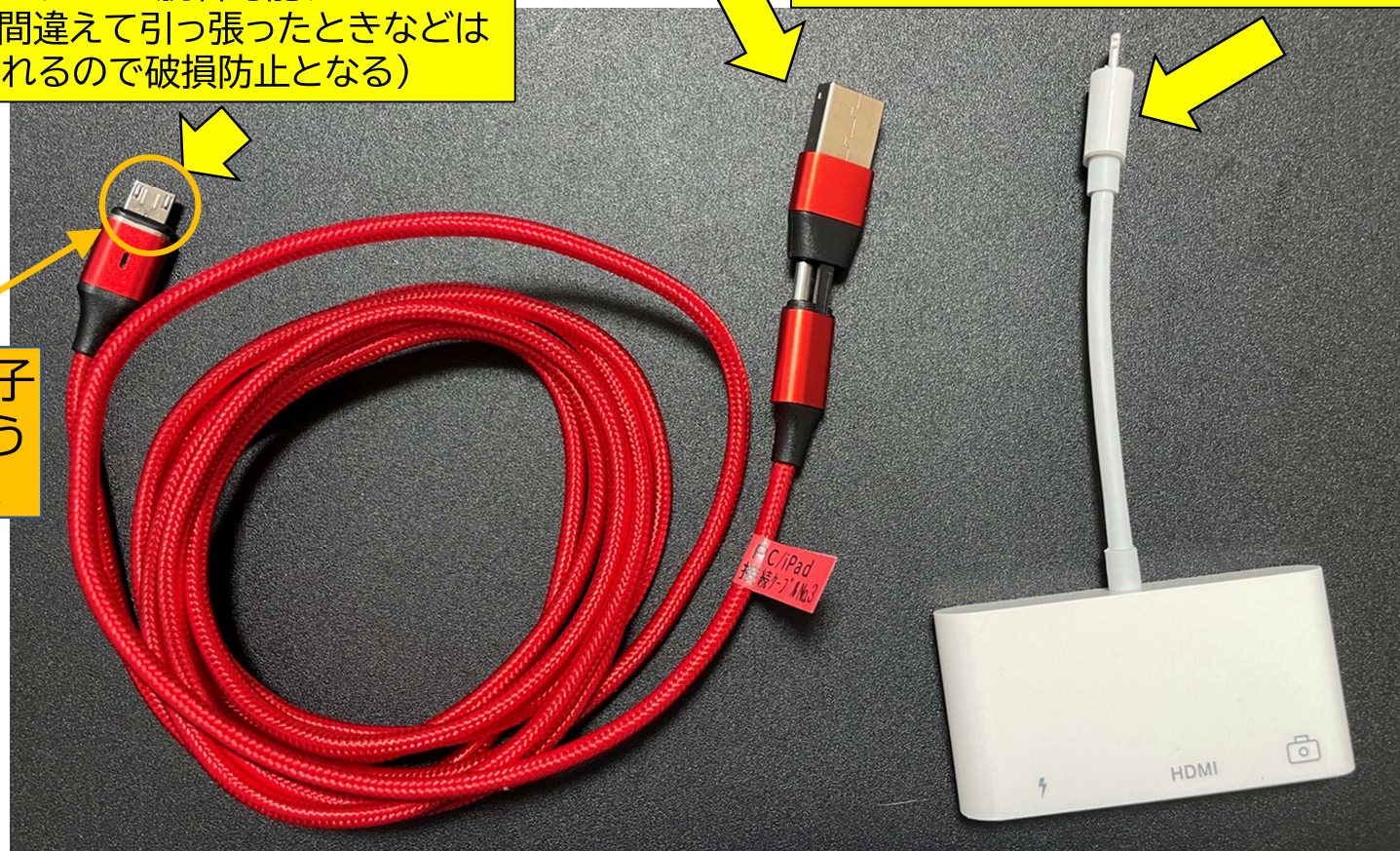
必ず、ファイン・チャットのデモ機と一緒にご返却ください。

USB-A、USB-C兼用端子(外部機器側)

マイクロUSB端子(ファイン・チャット側)
(端子部はマグネットで脱着可能、
ケーブルを間違えて引っ張ったときなどは
磁石部で外れるので破損防止となる)

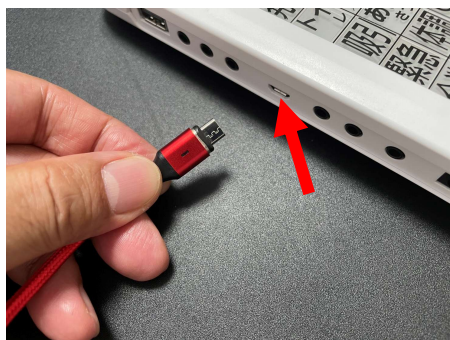
3in1 usb カメラアダプタ(ライトニング端子の
機器を接続する場合に使用、機器の
充電とHDMI出力が同時に可能)

先端の小さな端子
を紛失しないよう
にしてください

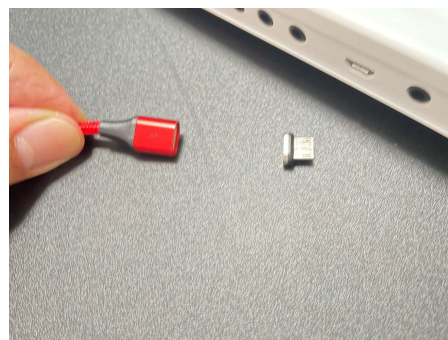


ファイン・チャットと外部接続機器のケーブルの接続例(取扱説明書36ページ～)

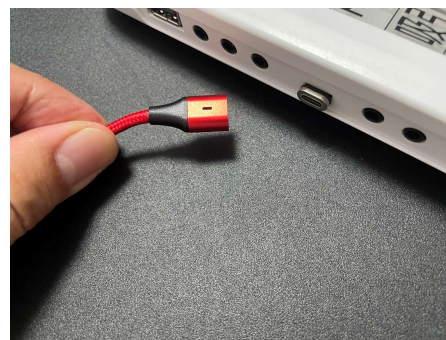
【1】ファイン・チャット側のケーブル接続(こちらはマイクロUSB-B固定)



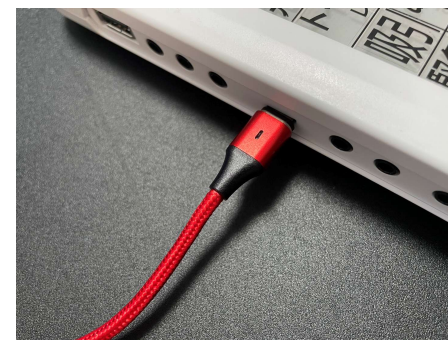
(1) マイクロUSB端子を確認



(2) 先端部を外す

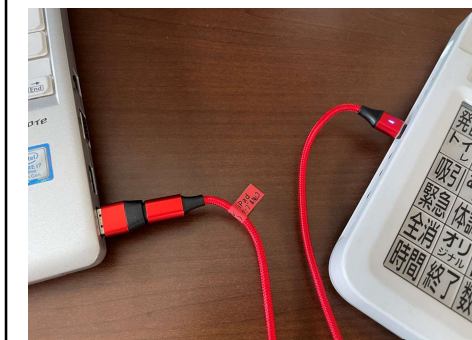


(3) 先端部を図の場所に 差し込む (方向を間違えないように)

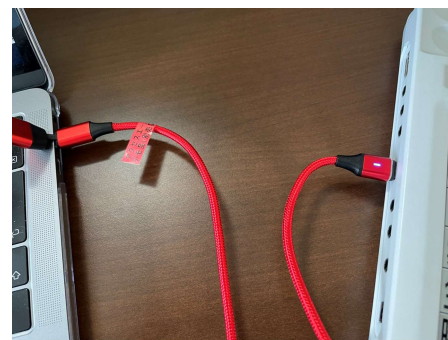


(4) マグネットで接続される (LEDが光る方を表にしたほうが判りやすい)

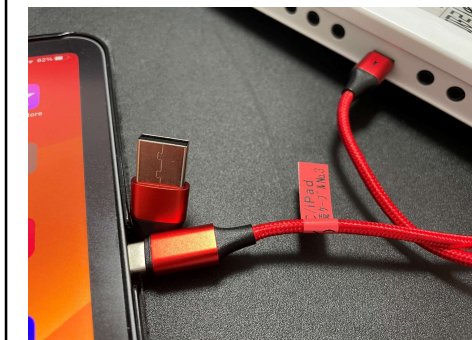
【2】外部操作機器のケーブル接続例



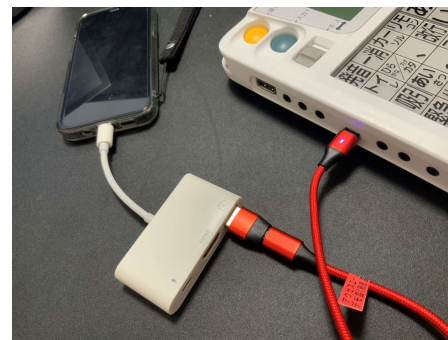
■Windowsの場合
パソコンのUSB端子(USB-A、USB-Cなど)に接続する
(写真はUSB-Aケーブルでキーボードを接続する端子につないだ例)



■Macの場合
MacのUSB端子(USB-A、USB-Cなど)に接続する
(写真はUSB-CケーブルでMacBookProの側面につないだ例)



■iPadPro(USB-C端子)の場合
iPadProの充電兼用端子USB-Cに接続する
充電やHDMI出力も同時に行う場合は間に「USB-C Digital AV Multiportアダプタ」(Apple社純正)を介する必要がある



■iPhone、iPad(ライトニング端子)の場合
ファイン・チャットからのケーブルとiPhoneのライトニング端子の間に変換アダプタ(①-C、別紙参照)を介して接続する